



## 「やさしいリハビリぬり絵」を提供する上での工夫

### ◆ぬり絵の見本の使い方

#### ①ぬり絵の見本を使用しない方法

ご本人の自発性を重視する方法で、ご本人のイメージや発想を生かし自由に取り組んでいただきます。

#### ②ぬり絵の見本を使用する方法

花や色のイメージが浮かびにくい方、ご自身で色を選ぶことが難しいという方は、見本(実物や『ぬり絵色見本』)があることで塗りやすくなる場合があります。また、あえて見本を見ながら塗るという方法も、注意力を高める練習になります。

### ◆色見本を提供しても塗りだせない方への工夫

色見本があっても、色を選べない方もいます。その場合は、「花の色」と「茎・葉の色」の2色の色鉛筆のみをお渡しして取り組んでいただく方法もあります。

花・茎・葉をすべて同じ色で塗ってしまう方もいます。その場合、「個性」や「現在の状況」として捉えることも大切ですが、「花を塗るときに、花の色の色鉛筆を手渡し、その後、茎・葉の色の色鉛筆を手渡す」という方法もあります。

### ◆ぬり絵の作業に取り組めない方への工夫

ぬり絵の作業に馴染みがない方、お一人では取り組めない方の場合は、ぬり絵に取り組んでいる方達と一緒に時間を過ごしてもらうことから始めると興味を示される場合があります。また、その方のそばでスタッフやご家族と一緒に塗ってみることも作業を始めるきっかけとなる場合があります。